

出演

今年のフランチ



畑 儀文 (指揮・テノール)

兵庫県丹波篠山市出身。大阪音楽大学大学院修了。1979年、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後、テノール・ソリストとして、ペーター・ダム(ホルン)、ユリウス・ベルガー(チェロ)との共演、イェルク・デームス、ロジャー・ヴィニョールズ、小林道夫の伴奏による数多くのリサイタル等、大きな成果を収めた。

Yoshifumi Hata

91年蘭アムステルダムの高名なバロック歌手M.v.エグメントのもとで研鑽を積む。以後オランダ各地で毎年受難週には福音史家として招かれ、また独ライブツィヒ・ニコライ教会においてJ.S.Bachの作品のソロを務めた。93年～99年3月にかけて、シューベルト歌曲全曲演奏を成し遂げ国内外で話題を集めた。

日本コロムビアから5種類、(株)エールから2種類のCDをリリースし、その天性の歌声はジャンルを問わず、心に響く感動を呼び注目を集めている。

2024年5月Eckelshausener Musiktage(ドイツ)、8月Sommerkonzert(ウイーン・リヒテンタール教会)で歌曲集「美しき水車屋の娘」を弾き歌う。

「大阪文化祭賞」「咲くやこの花賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば音楽監督



松原 友 (テノール)

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウイーン国立音楽大学リト・オラトリオ科卒業。第51回全国学生音楽コンクール第1位、第14回日仏音楽コンクール第3位、第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。

Tomo Matsubara

これまで日本、ヨーロッパにおいてリサイタルを開催し、NHKリサイタルノヴァ、ルーフトリエンナーレ、トピシ音楽祭、小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル、PMF音楽祭等に出演。小澤征爾、ウルフ・シルマー、準・メルクル、インゴ・メッツマッハー、ハルトムート・ヘンヒェン、上岡敏之、山田和樹他、国際的な指揮者と共に共演を重ねる。

東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校各非常勤講師。東京二期会、日本演奏連盟、日本シューベルト協会会員。ALM・ゴジマ録音よりCD「シューベルト歌曲集」発売。シューベルト歌曲連続演奏会～Der Weg zum 2028～開催中。



ティルマン・クレーマー (ピアノ)

幼少期からシュトゥットガルトのポール・バックに師事。リュベック音楽大学でコンラート・エルザーに、ウイーンではレオニード・ブルムベルクに師事。1996年、マドリッド国際ピアノコンクール入賞。同年、リュベックのポツェル財団音楽賞を受賞。

Tilman Kraemer

室内楽ではラサール弦楽四重奏団のウォルター・レヴィンとヘンリー・マイヤー、アルバン・ベルク弦楽四重奏団、アルテミス弦楽四重奏団のメンバー、トルレイフ・テデーン、樫木大信、等と共に演奏している。

シュレースヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、ワーゼム音楽祭、リスト・アン・プロヴァンス音楽祭、等の国際音楽祭にゲストとして参加。1999年以來、シューベルティアーデたんばに数多く出演。

2000年、シューマンとショパンの作品のCDをヴァーナス・ミュージック・レーベルからリリース。メンデルスゾーンの「無言歌集」、2005年ブラームスのピアノ曲、2009年ソナタ作品と別のブラームスのCDを発表している。

2001年から2007年までリュベック音楽大学で、2007年よりフライブルク音楽大学でピアノを指導している。ドイツ、スペイン、日本でコンクールの審査員を務めた。



松原 みなみ (ソプラノ)

大阪府出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院大学院音楽研究科修士課程(独唱)、博士後期課程(独唱)修了。ウイーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席(最優秀)で修了。第22回友愛ドイツ歌曲コンクール奨励賞受賞(学生の部最高位)。第24回友愛ドイツ歌曲コンクール一般の部第二位ならびに、日本歌曲賞受賞。Jan Kiepora国際声楽コンクール R. シュトラウス賞受賞。

Minami Matsubara

Ljuba Welitsch国際声楽コンクール 特別賞受賞。第91回日本音楽コンクール 声楽部門(歌曲)第一位、ならびに木下賞、畑中賞、E. ナカミチ賞受賞。

オペラでは、第60回藝大定期特別公演《コシファンツウツテ》(指揮:高関健、演出:栗園淳)デスビーナ役でデビュー。その後、シェンブレン宮殿宮廷劇場にてパミーナ《魔笛》でヨーロッパデビューし、好評を博す。その他、ミミ《ラ・ボエーム》、ドンナアンナ、ツェルリナー《ドン・ジョヴァンニ》、エミリーネ《アサー王》、フラスキータ《カルメン》など主要キャストとして出演。

コンサートソリストとしては、R. シュトラウス「クレメンス プレンターノの詩による6つの歌」、G. マラー 交響曲第二番「復活」、交響曲第四番「天上の生活」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「四季」、ベートーヴェン「第九」「ミサ ソレムニス ニ長調」、バッハ「短調ミサ」、メンデルスゾーン「讃歌」「聖パウロ」、シューベルト「ト長調ミサ」、ブラームス「ドイツレクイエム」などに出演。日本声楽アカデミー会員。



篠部 信宏 (バス)

大阪芸術大学大学院修了。学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位受賞。2009年丹波の森国際音楽祭シンボルアーティスト。2005年より毎年渡欧Max van Egmond氏に師事。バロックからロマン派に至る多数の宗教曲のソロを日本テレマン協会定期、関西フィルハーモニー管弦楽団定期等で歌う。

Nobuhiro Shinobe

2017年オランダにてバッハ《マタイ受難曲》のイエスを、ドイツにて同曲のバスアリアを歌いバーディッシュ新聞紙にて「簡潔で含蓄のあるバス」と絶賛される。また2019年ドイツ、アイゼナハ・バッハ音楽祭に《短調ミサ》バスソリストとして出演。

リートでは2007年小林道夫氏を迎えシューベルト「白鳥の歌」、10年オランダにてPablo Escandri氏とシューマン「詩人の恋」他、17年に京都でシューベルト「冬の旅」を歌い好評を博す。現在、シノベムジカアカデミー代表、京都・バッハ・ソリスト連所属、京都ゲヴァントハウス合唱団音楽顧問、日本テレマン協会ソリスト、京都女子大学および大阪芸術大学非常勤講師。



城村 奈都子 (ピアノ)

武庫川女子大学音楽学部卒業後、同大学専攻科修了。兵庫教育大学大学院修士課程修了。

Natsuko Shiromura

在学中より演奏活動を行い、丹波の森国際音楽祭「シューベルティアーデたんば」には毎年出演し、2015年度シンボルアーティストを務めるなど、主に伴奏室内楽の分野で活動。

2018年6月には兵庫県立芸術文化センター小ホールにて初リサイタルを開催し好評を博した。

また、絵本オペラカンパニー「おべろん」のメンバーとして各地の小学校・幼稚園で150公演以上に重なるなど、アウトリーチにも力を注いでいる。

近年は「クラシック音楽×演劇×謎解き」をミックスした新感覚のイベント「音楽探偵バッハの事件録」セバスチャン役としても活躍。

現在、武庫川女子大学音楽学部伴奏助手、同大学附属中高音楽教室講師。関西フィル合唱団、大阪バッハ合唱団、西宮中央合唱団伴奏ピアニスト。



(C) s.yamamoto

Kansai Philharmonic Orchestra

関西フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ)



(C) s.yamamoto

Kansai Philharmonic Choir

関西フィルハーモニー合唱団(合唱)



College Kobe Vocal Ensemble

カレッジ神戸声楽アンサンブル(合唱)

● チケットは、下記のプレイガイドでお求めできます ●

丹波の森宮苑・丹波ゆめタウン・春日文化ホール
田園交響ホール・かいばら観光案内所

※フォームからのご予約も承ります。スマートフォンでQRコードを読み取ってください →



● お問い合わせ先 ●

丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会事務局

シューベルティアーデたんば

検索

(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森宮苑 事業推進部 文化振興課内 TEL.0795-72-5170 FAX.0795-72-0899

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600 9:00~17:00 毎週月曜日休館 ※月曜日が祝日の場合は翌日